

わたしたちの街に新しい発見

ふ♡れ♡あ♡い

いかた

8月号

No.16
平成18年
8月1日発行

生涯学習だより

発行■伊方町教育委員会 編集■生涯学習課 印刷■(株)豊予社

伊方町スポーツ少年団交流大会(三崎小中グラウンド)



今月の主な紙面

- 大久小中学校通学合宿
- 図書館だより
- 中央公民館教室
- 町見郷土館から
- 瀬戸スポーツフェスティバル
- 人権シリーズ
- 学校通信
- 広報 文芸
- スポセンだより

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

8月のテーマ

“体をきたえよう 先祖をうやまおう”

(実践方法)

- 家族そろって野外活動を行い体をきたえよう
- 朝夕、先祖への拝礼を行い先祖について話し合おう

通学合宿「海の里」

大久小 4～6年生

七月三日(月)～七日(金)までの四泊五日間、大久小の四・五・六年生の児童十二名が、瀬戸公民館四ツ浜分館にて通学合宿を行いました。

この事業は身近な施設に集団で宿泊し、そこから通学することにより、買い物や炊事、洗濯、掃除などの日常作業を直接体験し繰り返すことにより、協調性や自主性、豊かな人間性を育むことを目標に瀬戸公民館が開催したものです。

宿に望みました。

最初はきこなく戸惑いながら食事を作っていた子供たちですが日を重ねることに、自分たちで考え、工夫を凝らし協力しながらおいしい食事を作ることができました。

また、空いた時間に宿題をしたり、日記を書いたり忙しい合い間を縫いながら、自分たちで計画を立て生活することができました。

星空観察や和太鼓実習、映画鑑賞などいろいろなことも挑戦しました。

この通学合宿「海の里」を通して、子供たちは家庭の大切さを学び、やればできるという自信を得て、ひとまわり



ふたまわりも大きく成長したことと思います。

なお、炊事や洗濯をはじめ、

一緒に寝泊りしていただいた大勢の保護者の方々はじめ、「海の里」の為に力を貸していただいた関係者の皆様に出場を借りて厚くお礼申し上げます。

皆様のおかげで大変意義深い「海の里」となりました。ありがとうございました。



第1回

'06 ライフアップ講座のご案内

■日 時 平成18年8月24日(木)
18:30～20:30

■場 所 伊方町中央公民館 3階 調理実習室

■内 容 開講式・簡単おいしい夏ごはん

～夏のごはん作りは簡単&スピーディーがいちばん!手早く作れて、見た目も栄養バランスもばっちりのメニューで元気に夏を過ごしましょう～

■講 師 伊方町栄養士 高石 洋子さん

■対 象 者 高校生以上の男女約20名

■受 講 料 500円程度(材料代)

■持 参 物 エプロン

■申込方法 8月17日(木)までに住所・氏名・電話番号・受講料を添え生涯学習課へ

TEL 38-0211



中央教室 第2弾

『父の日』親子ふれあいクッキング

〜プロに学ぼうイタリアン〜

6月17日(土)に中央公民館調理室に於いて、「父の日」にちなみ、親子クッキングを行いました。市内の親子21名が参加し、イタリア料理に挑戦しました。

講師には、八幡浜市でイタリア・レストラン「羅馬亭」を経営する衣輪吉弘さんをお願いし、スパゲッティの「ボンゴレ」と「豚ヒレカツのチーズ焼き」のご指導をいただきました。まず初めに、講師による見本の作り方を実演しながら丁寧に説明され、麵のゆで加減や、アサリとの合わせ方、ボンゴレの途中工程でアサリの



酒蒸しができることなど、中でも家庭では知られていないプロの業をも、教えていただきました。

この後、参加した親子が習ったばかりの料理づくりに取り組みました。

普段は、ほとんど料理をしないという親子でしたが、子どもがジャガイモを洗い、お父さんが皮をむくなど、慣れない手つきながらも、親子のコンビネーションが見られました。

また、作業に迷っていると、各テーブルを回っていた講師の衣輪さんに助言をしていた



だくなか、料理が完成に近づく調理室はおいしそうなお食事を誘う香りに包まれました。この後完成した料理を囲んで試食会を行い、親子ともどもおいしいの一言。

この途中に子供たちから内緒で作成していた感謝状を贈呈。お父さんに照れながら渡す我が子に、笑みいっぱいのお父さんでした。



第1回伊方町レクバレー

交流大会開催!!

9月3日(日)伊方町スポーツセンターにおいてレクバレー交流大会を開催いたします。

日頃、地理的条件によりスポーツに親しむ機会の少ない住民が一堂に集い、新町の町民間の交流を積極的に行うため、「レクバレー」を通じて親睦を深めませんか。

伊方・瀬戸・三崎の三地区の交流を目的に初心者、熟練者問わず、どなたでも参加できます!!

皆さんの参加をお待ちしています☆

詳しくは、

本庁生涯学習課

(TEL388-2661)

瀬戸地域教育課

(TEL57-2111)

三崎地域教育課

(TEL54-1114)まで。



第2回 瀬戸スポーツフェスティバル開催

6月25日(日)、瀬戸総合体育館において、第二回伊方町スポーツ祭(瀬戸大会)が開催されました。

これは瀬戸地域を中心としたスポーツ愛好者(子どもから高齢者まで)を対象に、地区間の親睦・交流を深めることにも、「みんなで楽しむスポーツ」を目標に、瀬戸公民館及び体育協会瀬戸支部の主催により行われるものです。

当日は、あいにくの天候により予定されていたペタンクが中止となりましたが、インディアカ・ペタンクの二種目



試合結果は次のとおりです。

【インディアカの部】
 男子 優勝 足成A
 準優勝 大久漁狼海
 女子 優勝 OBL
 準優勝 塩成の美女軍
 団No.1

**混合 優勝 スペシャルK
 準優勝 大久B**

【ドッジボールの部】
 優勝 塩成ブラックドラゴン

が行われ、和やかな雰囲気の
 中にも、白熱した場面もみられるなど、終始活気のある試合が展開されました。

大会準備及び運営等、役員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



伊方町スポーツ少年団 交流大会開催

7月8日(土)三崎小中学校グラウンド・三崎総合体育館を会場に、伊方町スポーツ少年団交流大会が開催されました。

この大会は、町内のスポーツ少年団員の交流を目的に、昨年度から実施しているもので、今年度はソフトボール5チームとミニバスケットボール5チームの2種目で10チームが参加し、勝負にこだわることなく各チームとの交流が行われました。



大会当日は雨の心配もされましたが、子供達の元気な笑顔とハツラツとしたプレーは、雨雲を吹き飛ばし、さわやかな佐田岬の風を呼びました。



学校通信



家族参観日

伊方中学校

毎年恒例になっております家族参観日を六月二十四日(土)に実施しました。家族参観日は家族の多数の参加を呼びかけるため休日に実施しています。

内容は、午前中授業の自由参観。午後は、親子バレー大会。さらに、懇親会を実施し、会員の親睦を深めました。

雨のお陰もあってか、午前中の授業参観は、父親や祖父の参加も多く、我が子(孫)の勉強ぶりを真剣に見入っていました。また、学校評価委員さんにも授業参観をして頂きました。

生徒の様子についての率直な意見や感想をさらには地域での様子を話していただき生徒理解に大変役立ちました。

午後からの親子バレー大会は、PTA会長上田時茂さんの開会あいさつの後、渡邊美雪・秀一郎君親子の力強い選手宣



誓で大会が始まりました。

試合は、各学級六チーム男子・女子・保護者)のクラスマッチ形式で行いました。二年生は、一学級のため学級内でのブロック対抗戦となりました。

好プレー・珍プレーの連続で熱戦の末、一年生は二組・二年生はAブロック・三年生は一組が見事優勝しました。また、参加者全員が気持ちのよい汗をながし、楽しく心温まるひと時を過ごしました。

この家族参観日を通して、「子どもは親の、親は子どもの」家庭では見ることの出来ない姿を再発見するよい機会になったと思います。

親子俳句教室

九町小学校

九町小学校では、「地域とともに育つ児童」づくりをめざして、地域の方々に数多くのご支援をいただいています。その中の一つに、親子俳句教室があります。

城岡正治さん、岩見愛子さんを講師にお迎えし、フリー参観日において、親子俳句教室を実施しています。例年五月に予定していましたが、インフルエンザの流行のため延期になって六月の実施になってしまいました。

今年もPTA教養文化部の方のお世話で、俳句作りを通して地域で学び、親子で触れ

合い、楽しみながら、より俳句に親しむことが出来たようです。親子で楽しい時間を過ごすことが出来ました。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。



1年生 かたつむり ぼくとおんな
じらんどせる
2年生 きゅうりの花 黄色の色が
きれいだね
3年生 母さんの かみなりおちて
くつならべ
4年生 初すいか おかわりしたが
なかったよ
5年生 いものつる あたまをあげ
てうれしそう
6年生 梅雨空に ナイスバッティ
ング はじけとぶ

新生・三崎丸

出航

三崎中学校

本校は二年前に串中、そして今年四月に二名津中と統合し、新生・三崎丸としてスタートを切りました。今回は、その乗組員を紹介しします。

まずは教職員です。メンバー一新、若さと華やかさを兼ね備えた女性パワーはさしずめ大奥?優しく信頼できる殿方が脇を固め、熱意あふれる指導で日々奮闘しています。

PTAでは、「おやじの会」が発足しました。「あせらず・気張らず・やれることから」を

モットーに、行事への協力や環境整備、意見交換会などの活動を予定。もちろん、おやじ同士の交流もあります。今後の活躍に、乞うご期待! 性別・年齢は問いません。(OB大歓迎)ただ今、会員募集中です。

最後は三崎丸の主役、八十七名の生徒たちです。大人たちの心配をよそに、仲良く楽しい学校生活、人間関係も広がり活気ある毎日です。生徒会では、三校のよさを生



かした取組を模索中です。恒例の「ひょうたんコンクール」を「ひまわりコンクール」へ。いま生徒と地域の方たちの手で、一つ一つのひまわりが大きく成長しています。大きな花を咲かせ、たくさんの種を結ぶ、そんな活動が目標です。こんな新しい三崎丸を、一度のぞいてみませんか。



伊方スポーツセンターだより



ジュニアスイミングスクール 第3期生を募集いたします。



第2期生のおともだちです。



- ◆時 間 ①16:20～17:10 ②17:20～18:10
- ◆期 間 8月31日～10月19日(毎週木曜日)
- ◆対象者 5歳児～小学3年生
- ◆会 場 伊方スポーツセンター屋内プール
- ◆定 員 40名
- ◆受講料 6,400円/2ヶ月(8回分)

● 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡下さい。

伊方スポーツセンター ☎ 38-1100、☎ 38-0776



伊方町立図書館だより

今月の新刊

● 一般向け

- 今と昭和の移り変わりがわかる最新日本地図/
清水靖夫 監修
- 最新農業の動向とカラクリがよ～くわかる本/
筑波君枝 著
- イチローの流儀/小西慶三 著
- J R西日本の大罪/鈴木ひろみ 著、
山口哲夫 著
- 豆腐屋の四季(大活字本)/松下竜一 著
- 生きる/吉武輝子 著
- かまわぬの手ぬぐいの使い方手帖
- さらば大遺言書/森繁久弥 語り、久世光彦 文
- 男の子の脳、女の子の脳/レナード・サックス 著、
谷川 連 訳
- 帯状疱疹に克つ/長沼芳和 著

- 豆腐と豆の料理176キレイにやせる ほか

● 子ども向け

- はしれショウガ/パンうさぎ/
R. ジャレル作、長田弘訳、G. ウィリアムス 絵
- 茶道・華道・書道の絵事典/PHP研究所編
- 2歳からの読み聞かせプーさん/ 森はるな 文
- きょうりゅうのひみつ
- ジュニアダイエット/渡辺満利子 著
- ニライカナイの空で/上野哲也 作
- あわ一つぶでよめをもらったわかももの/
イ ミエ 文、イ スミン 絵
かみやにじ 訳
- 3びきのくま(イギリス民話より)/いもとようこ
文・絵 ほか

利用案内

- 開 館 日/火曜日～日曜日
午前9時30分～午後6時
- 休 館 日/毎週月曜日
(月曜日が祝日のときはその翌日も)
祝日・月末図書整理日・年
末年始(12月29日から1
月3日)・蔵書点検日

伊方町立図書館

伊方町湊浦1992番地
伊方町生涯学習センター2階
TEL (0894) 38-0607
FAX (0894) 38-0617

瀬戸町民センター・三崎公民館にて図書
の返却のみ可能。

ピップスおはなし会のごあんない

8月のおはなし会は
12日(土)・26日(土)の
午後2時から行います。

絵本の読み聞かせや紙芝居などを
おはなしコーナーで行っています。みんな、来てね!!



8月1日～8月30日まで
『ワクワク昆虫展』を開
催する予定です。
どんな昆虫を展示してい
るか来てのお・楽・し・み!!
ご家族で、お気
軽にお越しくだ
さい。



8月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■…休館日

スケッチ ただいま作成中!



佐田岬みつけ隊の部活「古筆等の会」が、古い
縞や緋で半島地図を作成中。乞うご期待!

◆ 今月のきょうどかん ◆

2006年 8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■＝おやすみ

休館日は都合により、変更する場合があります。

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合)
38-2661 生涯学習課
■開館時間 9:30～16:30
■休館 月ほか

夏の企画展

せん たく び より 洗濯日和

～その服がきれいになるために～

開催中～9月24日(日)

- ミュージアムトーク……………8月5・19日
- 博物館の長い夜……………8月12・16・19日
(夜21:00まで開館!)

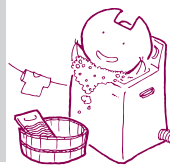
関連行事

二度と見れない!?電気洗濯機分解ショー

8月27日(日) 13:00～16:30

2階学習室 申し込み不要・通常入館料が必要

町見郷土館から



オシヨ口舟(大久・2004年撮影)

今年もお盆が近づいてきました。いつもは町を離れて暮らす若い人たちも、今は遠い彼岸へいった人たちも、みんな帰ってきます。なんだか不思議で嬉しくなる時期ですね。おかえりなさい。

盆棚をこしらえ、迎え火を焚き、盆踊りで夜が更け…。お盆の頃は、お正月と並んで、一年中で最も行事が密集している時期のひとつです。それだけ私たちの先祖から何世代も受け継いできた靈魂観や心性が表

今年もお盆が近づいてきました。いつもは町を離れて暮らす若い人たちも、今は遠い彼岸へいった人たちも、みんな帰ってきます。なんだか不思議で嬉しくなる時期ですね。おかえりなさい。

盆棚をこしらえ、迎え火を焚き、盆踊りで夜が更け…。お盆の頃は、お正月と並んで、一年中で最も行事が密集している時期のひとつです。それだけ私たちの先祖から何世代も受け継いできた靈魂観や心性が表

佐田岬半島のお盆

佐田岬民俗ノート

15

現される、とても重要な期間だといえるでしょう。

海へ流します。さらに松では、竹の先に着物を着せた大きな人形を作り、鉦や太鼓で囃し「もーな、もーな、もーみーどー」と唱えながらグルグル廻すのです。

いやはや、とにかく個性的。なんと想像力豊かな精神世界でしょう。いずれの地区の行事も、今後衰えるでなく、奇を衒うでなく、今おこなっている当たり前のまま、力強く続け伝えてほしい、佐田岬半島の誇るべき民俗文化です。



「もうな」を回す(松・2005年撮影)



人権学習シリーズ 200

四国地区人権教育研究大会に参加して

総務課 増田 愛明

水ヶ浦小 下柳 信幸

第53回四国地区人権教育研究大会が、6月29日と30日の2日間の日程で香川県高松市において開催されました。

本研究大会は、「四国はひとつ」を合言葉のもと、これまでの同和教育の成果と手法を大切にしながら、人間の尊厳と人権の確立を目指した研究と実践の交流をとおして、これからの人権教育のあり方とさまざまな人権問題を解決する実践の道筋を明らかにすることを目的として、すべての人の人権確立に向け、差別の現実から深く学ぶ実践をとおして、人権文化の構築を目指す教育をどのように創造していくかを研究主題として掲げ大会がはじまりました。

人権教育をめぐる現状は1948年の国連総会において、「世界人権宣言」が採択されてから、国内でも「人権教育および人権啓発の推進に関する法律」が策定されるなど、人権教育、啓発推進のための法律や計画が整備されてきました。

しかし、「人権」という言葉自体が、漠然と抽象的にしか理解されていないという問題もあるなど、これからは、いままで取り組んできた啓発活動や学習活動などの質が一層問われることになります。

そのためには、今回の大会の討議課題のひとつである、人権確立をめざす地域の教育力を高めていく必要があると言われております。

分科会で、徳島県小松島市櫛渚公民館の4半世紀におよぶ地区懇談会の取り組みの実践発表を聴講しました。

櫛渚公民館では、人権教育学級の開設や講座をはじめ人権教育、啓発研修大会などを推進してきて、人権問題に対する理解と認識は深まってきたけれど、依然として社会意識として差別観念は存在している。

あらためて人権の町づくりをめざした教育、啓発の必要性が問われていると考えており、そのためにはやはり公民館などが中心になって人権啓発の学習会を継続していくことの大切さを強調しておられました。

本町でも、人権尊重のまちづくりを進めるため、人権教育、啓発を総合的に推進することとしていますが、従来からの地区別懇談会は、行政、学校、地域との連携を密にしながら継続していき、町民の人権意識を更に高める必要があると思いました。

まだ梅雨の明けない6月末、第53回四国地区人権教育研究大会が高松で開催されました。「四国はひとつ」を合言葉に、これまでの同和教育の成果と手法を大切にしながら、人間の尊厳と人権の確立をめざした研究と実践の交流を通して、これからの人権教育の展望を拓く大きな意義と役割を担っていました。

基調提案では、人権教育の概念、四側面が述べられました。「人権としての教育」（進路保障・識字学級など）「人権についての教育」（差別の現実・解放の道筋）「人権を通じての教育」（なかまづくり）「人権のための教育」（差別を許さない行動力の育成）で、今までの同和教育と関連付けられており、同和教育は、人権教育の内実を具体化した先進的な取組であったことがわかります。

分科会「人権確立をめざす地域の教育力」では、徳島県つるぎ町教育委員会より、「共生の社会の実現をめざして」の報告がありました。三町合併後、職員間の温度差をなくし、方向性を明らかにするため、人権擁護の施策を行政の重要な課題として位置付け、条例や規則、会則等を制定し、住民の視点に立った町民一人一人の人権意識をはぐくむ教育と啓発活動に努めていました。また、町職員が一丸となって人権研修を行っており、真摯な取組が会場にも伝わってきました。

最後の大学教育分科会で、「部落史の転換について」の報告がありました。部落差別の成立を、「近世の政治体制による分裂支配」や「部落の生活はつねに貧困で悲惨であった」といった見方に、修正と見直しが求められています。

分科会での参加者の率直で誠実な意見、報告者へのあたたかい共感に感動を覚えました。



報 文 芸

俳 句

町見野の花句会

助け合ひ親子で越える夏嶺かな 松田紋司朗
 法螺の音やご神像背に山開き 上口久志
 梅雨晴や納税済ませ午睡かな 上田文男
 梅雨ごもりページめくれれば別 浜田保仁
 世界 カラフルな傘一列に梅雨登校 山口朝子
 名水や彩をきはめし夏茶碗 古田かずゑ
 法の山撞木の紐の梅雨じめり 岩見愛子
 義経に介添控え薪能 菊池あつ子
 暮れそめし谷間に淡き合歓あ 大沢昭子
 かり 鎌先に触ればこぼるる野の苺 林そで子
 往き帰りに佇ち美しきばら館 川縁秀子

瀬戸句会

万緑に包まれ和む露天の湯 山田美恵子
 掌を合はす母の姿やおじぎ草 岩井ふみえ
 友たずね思ひ出話梅雨晴間 得能カツミ
 合歓の花閉じて静かな蜚のむら 西山美津子
 り 里帰り孫に着たし浴衣縫い 得能悦子
 泥濘の穢土よりあえぎ浄蓮華 城岡正治
 火星でも人為の及ぶ夏の空 丸川一彦
 家建や槌音ひびく梅雨晴れ間 佐々木忠雄
 岬路や肌も日やける天草干し 佐々木サチ子
 梅つける気持ちにゆとりとり戻す 浅井ミドリ
 空豆も花に追われて夏になる 吉見福子
 山百合の草の中より匂ひ立つ 大星幸子
 手をとって紅の虹錦帯橋 福岡 博
 サクランボ見るも楽しき夏来たる 八城征雄
 桃の木の下でみそ麦弾く音 井上幸子
 梅雨空に旅に出る日を待ちわびる 岡本 登
 ふるさとの夏柑重く届きたる 佐々木 煦

さざなみ句会

母の日や儉し明治の母の居て 佐々木礼子
 ほととぎす愛をもとめて今日も又 吉上マツエ
 かたつむりやつと登れば先客か 本田光男
 梅雨晴れ間皆一斉に動きだし 小関秀次
 講座聴く梅雨台風のざわつて 高茂弘子
 霧が飛ぶ岬に生きる海双つ 小西紀代子
 菌の生えてとうもろこしをかじりたし 大谷 勉
 ベランダに母の匂いのもの干せる 木村松代
 梅雨に寒し無法の国と隣り居て 中谷段々子
 戦争にはゆかず十四の敗戦忌 中谷段々子
 急ぐまゝに足早むれば月もまた 宮本マサ子
 食卓の器に泳ぐ心太 松本光女
 お山開き男だ登る神の道 今川又一
 弱体は金が要るいる梅雨なかば 今川キクエ
 霧深し螢袋の灯がともる 宮部タミエ
 雲ごと売れり仏花も買いにけり 大川昇太
 炎天下石も草書の顔をする 大谷 勉

花開きそこに居たのか山つづじ 葉月 渚
 月おぼろ病みて貧しき人の上 阿部八重
 炎天下神の恵か生ビール 川口篤夫
 故郷の想いの中の盆が来る 神原貞規
 雨の後露をかぶりて草むしり 山内 徹
 雨の中笑うあじさい皆元氣 石田 満
 落雷は梅雨明け近し天の声 小西紀代子
 青芒立てば背後の牛のこえ 山内須磨子
 梅雨晴れ間屋根いっぱいにふとん干す 山内良子
 みかん摘果汗で又もぐ空明かし 井上幸子
 逆縁の子等のいとしき盆が来る 中村 豊
 盆近し帰天の妻に独り言 長尾金満
 老鴛の海に向いてこえの艶 梶原高子
 猛暑にも明日へ咲きつぐ木槿かな 吉上マツエ
 コンテナに残るスパイクだれを待つ 井上 靖
 「飛び梅」をしのべば教師夏休み 竹上正也
 摘みたての青しそ香る朝餉かな 佐々木忠雄
 な ぼんやりと見つめた空にオリオン座 大成由佳

川 柳

伊方町川柳会

ごうや瓜苦味走った味がいい 上田文男
 青空へ飛び発つような花菖蒲 池田君子
 塩加減十人十色よ梅漬ける 篠川佳津子
 夏物の出番の箆入れ替へる 菊池真志江
 独り暮らし気づかう嫁居て息子居て 木戸恵津子
 賃上げもメーデーもせず五十年 松坂正子
 土産屋の試食コーナーみな旨い 山崎三喜
 子にあてにされて梅漬け味噌作り 西田多恵子
 日傘の柄あつくなるまで待たされる 門田千枝
 三億円やすやす釈放ほりえもん 梶谷芳泉

誤記訂正のお詫び

7月号2頁3行目「教育長に
 西川喜祐氏」とあるのは教育
 委員長が正